



平成 21 年 (2009 年) 10 月 28 日

報道関係者各位

**平成 21 年度東京国際交流館国際シンポジウム「『留学生 30 万人計画』
と日本語教育 - 大学と予備教育の連携を考える -」開催のお知らせ**

独立行政法人日本学生支援機構では、名古屋外国語大学、大阪大学、関西大学(コンソーシアム)との共催で、平成 21 年(2009 年)11 月 7 日(土)に、「『留学生 30 万人計画』と日本語教育 - 大学と予備教育の連携を考える -」と題した国際シンポジウムを開催いたします。

2020 年を目途に 30 万人の留学生受入れを目指すという「留学生 30 万人計画」の骨子が、昨年 7 月に策定されました。同計画の中では英語による学位取得プログラムの設置が推進されていますが、日本に留学する外国人学生の大部分は引き続き日本語を教育言語として大学で学ぶものと予想されます。また、卒業後留学生が日本の企業に就職し、日本で活躍することも期待されています。一方、最近の調査によると、国内の日本語教育機関の修了者のうち、7 割が大学等に進学しており、大学等で学ぶ正規留学生の 6 割が国内の日本語教育機関からの入学者となっています。

このような状況から、留学生 30 万人計画を達成するためには、留学生を受入れる大学と日本語学校等の日本語教育機関が連携して、留学生受入れの基盤としての日本語教育の体制作りをし、その内容を充実させることが必要です。本シンポジウムでは、留学生 30 万人計画と日本語教育の現状と展望について検討することを目的に開催いたします。参加費は無料です。どうぞ奮ってご参加ください。

記

1. **題名:** 国際シンポジウム「『留学生 30 万人計画』と日本語教育-大学と予備教育の連携を考える-」
2. **日時:** 平成 21 年(2009 年)11 月 7 日(土) 13:00 開演(12:30 開場)
3. **会場:** 東京国際交流館 プラザ平成 3 階 国際交流会議場他
東京都江東区青海 2-2-1 国際研究交流大学村内
4. **プログラム:** (基調講演は日英同時通訳あり)
13:00 開会挨拶
13:20 基調講演 「留学生をいかに受け入れるか - 留学生 30 万人計画の達成に向けて -」
Dr. William Gaskill(カリフォルニア大学ロスアンジェルス校・アメリカンランゲージセンター長)
14:10 基調講演 「日本留学を支える日本語教育」
西原鈴子(文化庁文化審議会会長、元東京女子大学教授)
15:20 分科会 「日本留学を支える日本語教育」
「留学の始まりから大学等への入学まで」、「大学等在学中」、「大学等卒業後に向けて」
16:25 パネルディスカッション
「『留学生 30 万人計画』と日本語教育-大学と予備教育の連携を考える -」
「分科会報告」、「外国人学生からの提言」、「パネルディスカッション」
パネルディスカッション登壇者:西口光一(大阪大学留学生センター教授)、横田雅弘(明治大学教授)、
田中眞一(大阪YMCA理事)、奥田純子(コミュニケーション学院院長)
18:30 意見交換会

独立行政法人 日本学生支援機構(JASSO)

東京国際交流館 事業係/萩原・上田・湯橋

TEL: 03 - 5520 - 6001 FAX: 03 - 5520 - 6011

E-mail: tiecproject@jasso.go.jp URL: <http://www.jasso.go.jp/>